

IV 調 査 日 程

IV-1 基本設計調査日程 (昭和61年4月6日～5月2日)

日順	月 日	移 動	宿泊地	時 間	調 査 内 容
1	4/6 (日)	東京→パリ (AF 269)	パリ	11:45～19:25	(小山団長他6名)
2	4/7 (月)	パリ→ラゴス (UT-881)	ラゴス	12:40～17:40	
3	4/8 (火)		"	9:00～12:00	在ナイジェリア日本国大使館表 敬訪問 ラゴスにおける一般注意及び日 程協議
				11:00～12:00	ナイジェリア各省表敬訪問 (科学技術省、国家計画省、 大蔵省、外務省)
				12:00～2:00	Federal Fisheries School 連邦水産学校、加工工場及び Jetty の現地視察
4	4/9 (水)		"	8:30～9:00	在ナイジェリア日本国大使館
				9:30～15:00	ナイジェリア海洋調査研究所 (NIOMR) 調査方針、日程協議、日本国政 府無償資金協力のシステムの説 明、インセプションレポートの 提示及び説明 質問書提示、要請内容、実施主 体の確認
5	4/10 (木)		"	9:00～12:00	NIOMR 要請内容の確認及び協議 建設予定地踏査、及び周辺状況 調査
				12:00～14:00	NIOMR 加工工場及びJetty 調査及び測 量
				15:00～17:00	団内ミーティング
				20:00～24:00	"
6	4/11 (金)		"	9:00～17:00	NIOMR Laboratoryの施設内容検討及び 協議資機材、加工工場及びJet- tyの内容範囲の検討及び協議 Laboratoryの建設予定地土質調 査

日順	月 日	移 動	宿泊地	時 間	調 査 内 容
7	4/12 (土)		ラゴス	10:00~15:00	ラゴス市内マーケットにて一般物産の市場価格調査及び一般事情調査
8	4/13 (日)		"	8:00~17:00	ラゴス近郊漁村(KETA, VILLAGE, IBESHE SEABEACH)にて零細漁業(沿岸漁業)視察
9	4/14 (月)			9:00~12:00	NIOMR Laboratory及びJettyの施設計画にかかる詳細打ち合せ
				13:00~17:00	連邦水産学校 学校施設拡充の要請内容、実施主体の確認、及び敷地調査、測量
				19:00~22:00	団内ミーティング ミニッツ試案作成
10	4/15 (火)			9:00~12:30	NIOMR Laboratory、資機材、学校の施設計画にかかる詳細打ち合せ ミニッツ試案の検討及び協議
				15:00~17:00	ミニッツ試案の検討及び協議
				19:00~22:00	団内ミーティング ミニッツ試案の再検討及び協議
11	4/16 (水)			9:00~14:00	NIOMR 各省連絡会議開催 無償資金協力システムの説明 ミニッツドラフト協議、作成
				20:00~22:00	団内ミーティング
12	4/17 (木)			10:00~11:30	NIOMR ミニッツ署名、交換
				11:30~13:00	日本国大使館 ミニッツ署名、交換の報告
				14:00~17:00	資料収集
13	4/18 (金)	山崎団員帰国		8:00~10:00	資料収集
				10:00~12:30	連邦水産学校卒業式の招待を受ける
				13:30~18:00	建築資機材の資料収集
				20:00~21:00	団内ミーティング

日順	月 日	移 動	宿泊地	時 間	調 査 内 容
14	4/19 (土)	小山団長帰国	ラゴス	7:30~12:00	資料収集 (ラゴス大学構内BOOK SHOP)
				13:00~16:00	ラゴス市内建物見学 国立博物館、国立劇場、及び市内建物 〔公共建物は全て写真撮影不可〕 〔一般市内建物及び市街も撮影困難〕
15	4/20 (日)	ラゴス-ボトハコート (WT-100)	ボトハコート	7:00~9:50	
				10:30~14:00	アフリカ地域養殖センター 養殖池造成工事及びハッチェリーの視察
				15:00~17:00	団内ミーティング
16	4/21 (月)	ボトハコート-ラゴス (WT-103)	ラゴス	8:00~12:30	連邦沿岸漁業基地 施設視察及びミーティング
				14:30~15:20	(ラゴス空港及び周辺の治安状況が悪い為出発を早める)
17	4/22 (火)		"	8:00~10:00	ラゴス市内建築現場視察
				10:00~14:00	資料収集 (設備資材及び木材)
				15:00~20:00	団内ミーティング (NIOMR 既存建物の図面トレース作成)
18	4/23 (水)		"	8:00~15:00	資料収集 (鉄筋、鉄骨、アスベスト製品)
				15:00~18:00	資料整理及び団内ミーティング
19	4/24 (木)		"	8:00~10:00	資料収集 (電線資材)
				10:00~13:00	ラゴス市都市計画課 建築一般関連法規の調査
				14:00~18:00	資料整理及び団内ミーティング
20	4/25 (金)		"	9:00~13:00	NIOMR 既存施設補足調査
				14:00~17:00	連邦水産学校 既存校舎補足調査及び測量
				20:00~22:00	資料整理及び団内ミーティング

日順	月 日	移 動	宿泊地	時 間	調 査 内 容
21	4/26 (土)		ラゴス	9:00~12:00	加工工場及びJetty 既存施設補足調査及び測量
				13:00~17:00	資料収集及び市内建物視察
22	4/27 (日)		"	9:00~15:00	ラゴス市内一般事情調査
				15:00~17:00	資料整理及び団内ミーティング
23	4/28 (月)		"	9:00~12:00	調査及び日程報告書作成
				14:00~15:00	日本国大使館へ調査概要報告
				15:15~17:00	NIOMR 最終打ち合せ
24	4/29 (火)		"	9:00~12:00	連邦水産学校 最終打ち合わせ
				13:00~	帰国準備
25	4/30 (水)	ラゴス→パリ (UT-744)	パリ	12:45~19:45	(伊藤団員他4名帰国)
26	5/1 (木)	パリ →		13:20	
27	5/2 (金)	→東京 (AF-274)		14:05	

IV-2 ドラフト説明調査日程 (昭和61年7月14日~7月26日)

日順	月 日	移 動	宿泊地	時 間	調 査 内 容
1	7/14 (月)	東京ーロンドン (JL 401)	ロンドン	12:00~16:10	(小山団長他3名)
2	7/15 (火)	ロンドンーロンドン (BR 361)	"	12:00~18:30	
3	7/16 (水)	ロンドンーラゴス (BR 361)	ラゴス	19:00~01:00	
4	7/17 (木)		"	9:50~10:10 10:10~11:00 11:50~12:15 14:00~17:00	科学技術省次官表敬訪問 大蔵省海外投資財政局表敬訪問 ナイジェリア海洋調査研究所 (NIOMR) 団内ミーティング
5	7/18 (金)		"	10:00~11:00 11:00~11:30 11:30~13:00	日本国大使館表敬訪問、調査日 程打合わせ 科学技術省大臣表敬訪問 NIOMR ドラフトファイナルレポ ート提示協議
6	7/19 (土)		"	9:00~12:00 13:00~17:00	NIOMR ドラフトファイナルレポ ート提示協議 資料収集
7	7/20 (日)		"	9:00~16:00	国際熱帯農業研究所(IITA)視察
8	7/21 (月)		"	10:00~14:00	NIOMR ドラフトファイナルレポ ート提示協議
9	7/22 (火)		"	10:00~12:00 12:00~13:00	NIOMR 各省連絡会議開催、日本 国政府の無償資金協力のシステ ムについて説明、ミニッツドラ フト協議 建設予定地視察

日順	月 日	移 動	宿泊地	時 間	調 査 内 容
10	7/23 (水)		ラゴス	11:30~12:00 14:00~15:30	NIOMR ミニッツ署名、交換 日本国大使館へ調査概要報告
11	7/24 (木)	ラゴス→ロンドン (BR 372) ロンドン→パリ (BR 896) 山崎団員帰国	パ リ	09:00~17:15 19:30~21:25	(小山団長他2名帰国)
12	7/25 (金)	パリ——		15:00~	
13	7/26 (土)	——→東京 (AF 276)		09:40	

V 面談者リスト

V-1 ナイジェリア連邦共和国側関係者

- (1) Federal Ministry of National Planning
(Development Aid Division)
 - Mr. A. Akinboboye Deputy Secretary
 - Mrs. R. O. Sonaiya Principal Assistant Secretary
 - Mr. C. Adegoke Assistant Secretary
 - Mr. A. Alao Principal Assistant Secretary

- (2) Federal Ministry of Finance
(External Finance Division)
 - Mr. Mpu Obaro Director
 - Mrs. Iremiren Principal Secretary
 - Mr. I. O. Ukoba

- (3) Ministry of External Affairs
(International Economic Co-operation Department)
 - Mr. Oyetayo Deputy Director (Bilateral)
 - Mr. Adebola O. Labiraw

- (4) Federal Ministry of Science and Technology
 - Prof. E. U. Emovon Minister
 - Ms. Olukoya Permanent Secretary
 - (Agricultural Science Division)
 - Dr. Adetunji Director
 - Ms. K. Tychus-Lawson Legal Adviser
 - Mrs. M. I. Udo-Aka Chief Scientific Officer

- (5) Federal Ministry of Justice
 - Mr. E. F. Fatoye Senior State Counsel

- (6) Nigerian Institute for Oceanography and Marine Research (NIOMR)
 - Mr. J. G. Tobor Director
 - Mr. A. A. Olaniawo Principal of Federal Fisheries School, Lagos
 - Dr. T. O. Ajayi Chief Research Officer (Fisheries Resource)
 - Mr. S. A. Amune Administrative Secretary
 - Mr. R. E. K. Udolisa Principal Research Officer (Crew)
 - Mr. B. B. Solarin Senior Research Officer
 - Mr. O. Oladosu Principal Engineer

V-2 日本国側関係者

(1) 在ナイジェリア国日本国大使館

宮川 渉	特命全権大使 (基本設計調査時)
堂ノ脇 光 朗	特命全権大使 (ドラフトレポート説明時)
森本 敏	参事官
川原 章	書記官
岩月 丈 明	書記官
吉本 祥 二	書記官
山 川 英 征	書記官

(2)

鷲頭 亀太郎	専門 家
田中 一 馬	専門 家
杉山 富 夫	専門 家

VI 収集資料

VI-1 NIOMRの気象データ

A. WEATHER CONDITIONS (NIOMR)

1. Maximum, minimum and average figures of relative humidity including wet and dry bulbs, rainfall (precipitaion), Wind velocity, etc. in every month are required.

AV. 1978-1981

	JAN.	FEB.	MAR.	APR.	MAY.	JUN.
Dry bulb Max. °C Min. °C Ave. °C	27.50	27.34	27.76	29.01	27.44	26.10
R. Humidity Max. % Min. % Ave. %	BETWEEN		75%	AND		95%
Rainfall Max. mm. Min. mm. Ave. mm.	5.45	20.00	66.43	166.15	279.35	292.78
Wind velocity Max. m/sec. Min. m/sec. Ave. m/sec.						

AV. 1978-1981

	JUL.	AUG.	SEP.	OCT.	NOV.	DEC.
Dry bulb Max. °C Min. °C Ave. °C	3Knots 27.8°C 25.9°C 25.8°C	24.49	5Knots 27.9°C 23.8°C 25.8°C	3knots 29.7°C 24.0°C 26.8°C	4Knots 31.4°C 26.6°C 29.0°C	27.28
R. Humidity Max. % Min. % Ave. %	BETWEEN		75%	AND		95%
Rainfall Max. mm. Min. mm. Ave. mm.	236.57	189.30	177.70	167.90	106.55	11.25
Wind velocity Max. m/sec. Min. m/sec. Ave. m/sec.	3Knots		5Knots	3Knots	4Knots	

AV RAINFALL → AVPRAGE of 1978 - 1981

GENERALLY TAKE HUMIDITY AS BETWEEN 75% - 95%

2. Dry and rainy season

- a) Dry season : From November to March .
- b) Rainy season : From April to October .
- c) Harmattan : From November to March .

Size of particles of sands : Very fine

3. Rainfall of squall and others

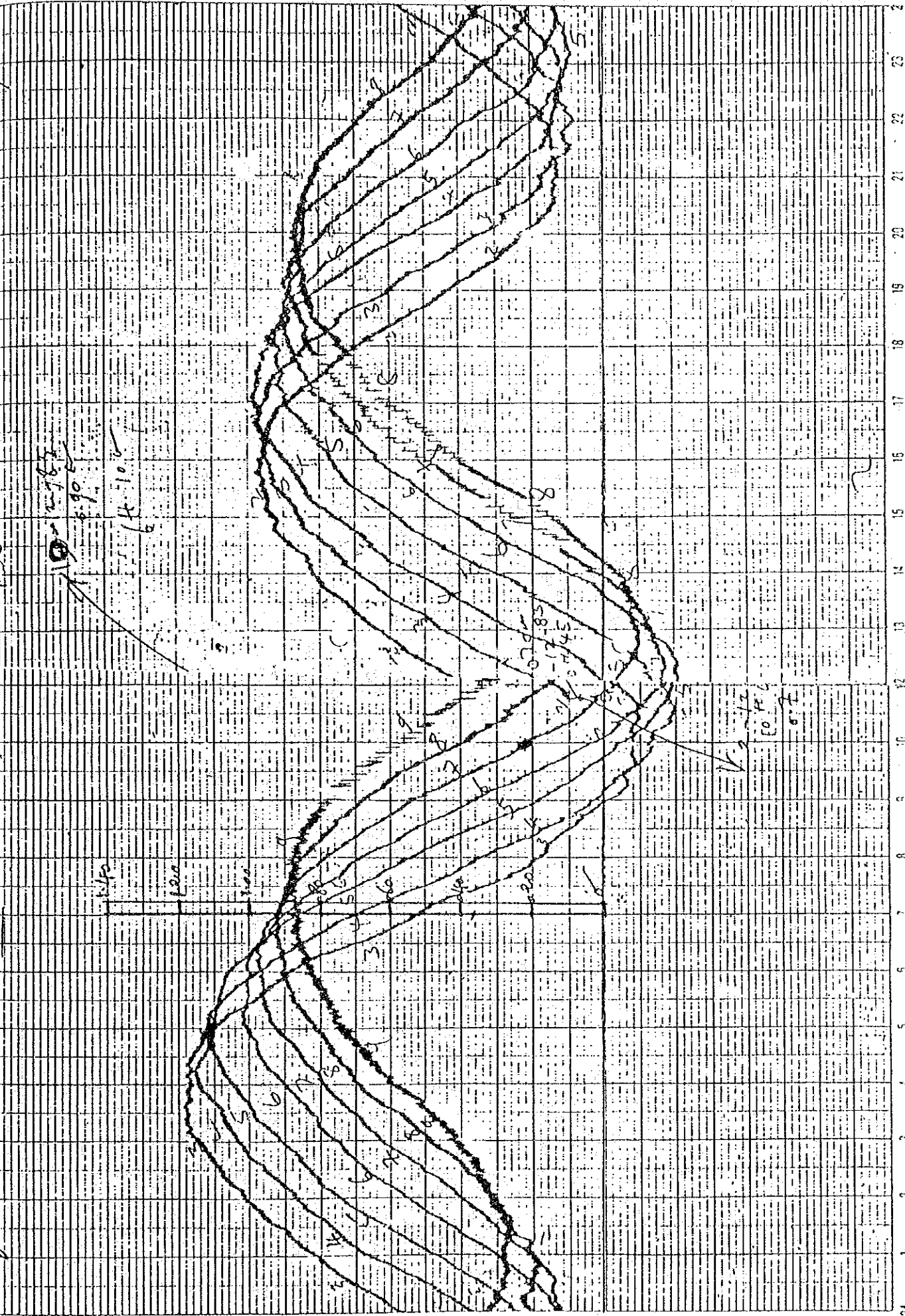
- a) Maximum rainfall of squall :
467.50 mm./ month of July 1979
- b) Struck by lightning : Frequently observed.
- c) Prevailing wind speed and direction :
South East and North West
- d) High tide :
1.5 m Generally below

Pegel zu Sigol an der Station F/GZ

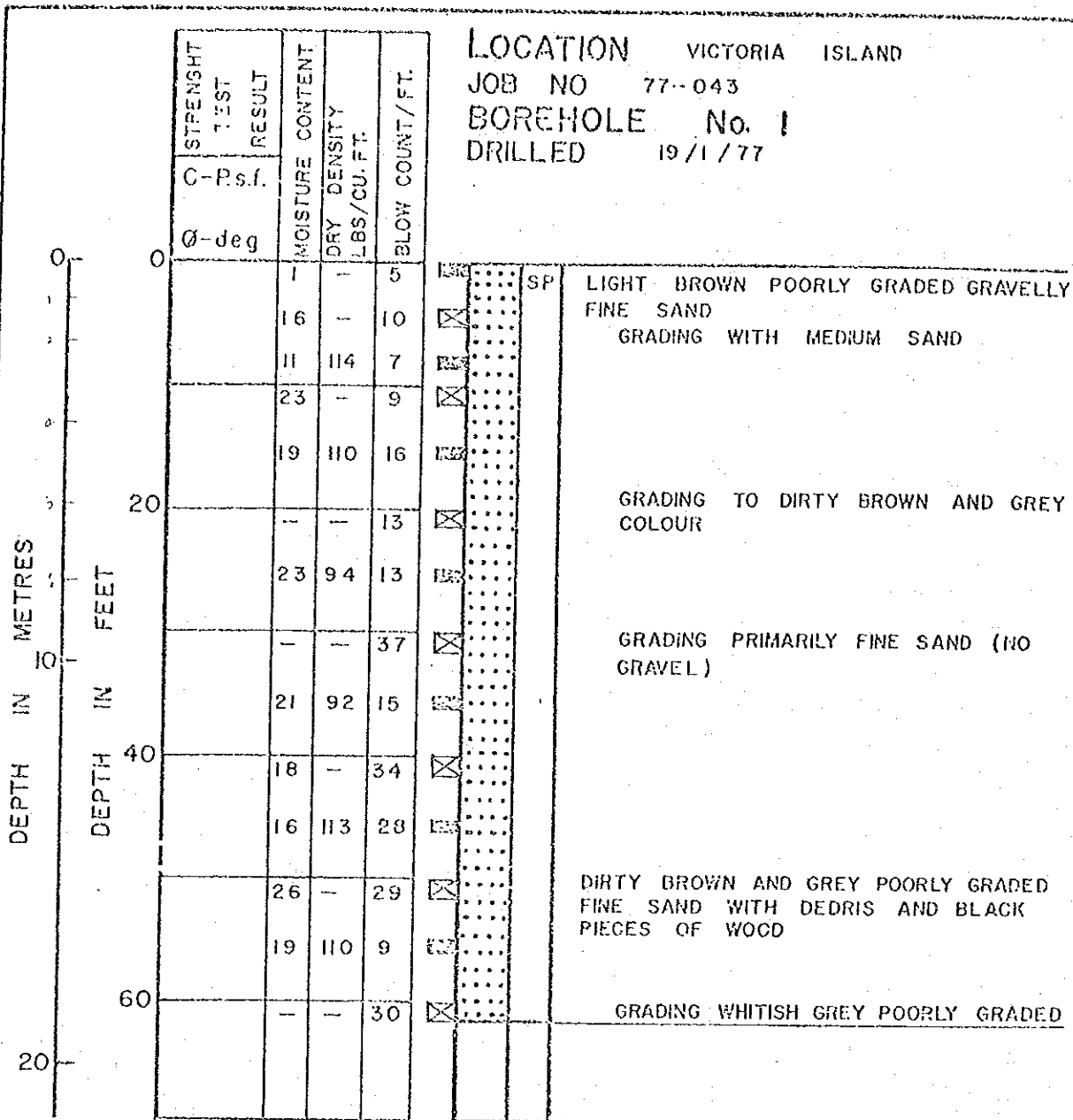
Anzahl Tage vom 2 8 8

..... 8

..... 2



LOCATION VICTORIA ISLAND
 JOB NO 77-043
 BOREHOLE No. 1
 DRILLED 19/1/77



BOREHOLE TERMINATED AT A DEPTH OF 18.6 METRES (61 FEET)
 GROUND WATER ENCOUNTERED AT A DEPTH OF 1.5 METRES (5.0 FEET)

KEY:

- UNDISTURBED SAMPLE
- DISTURBED SAMPLE
- SPLIT SPOON DISTURBED SAMPLE
- SAMPLE ATTEMPT BUT NO RECOVERY

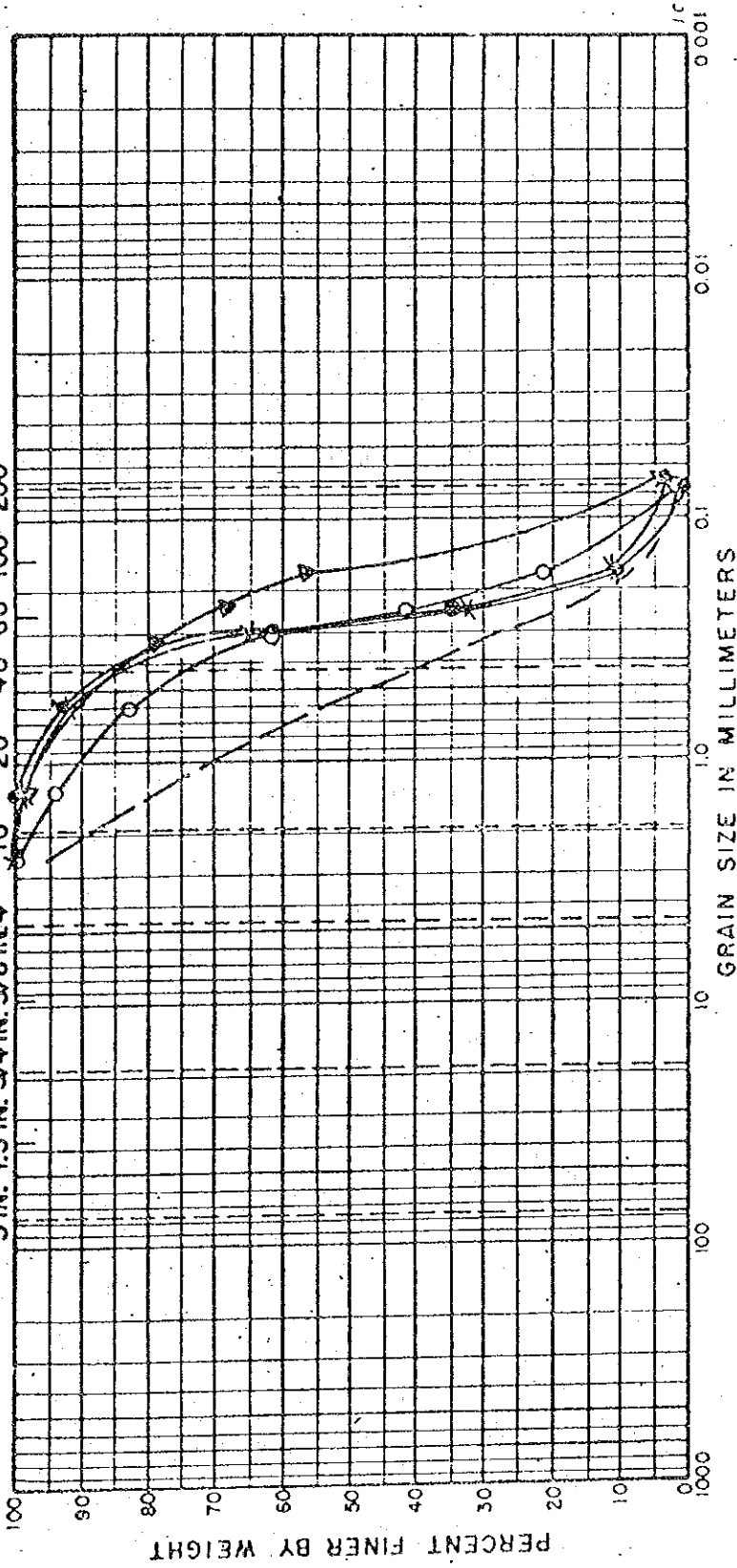
BLOW COUNT PER FOOT EXPRESSED AS N

LOG OF BOREHOLE

B.S. SIEVE SIZE 3/8 7 14 25 52 100 200

U.S. STANDARD SIEVE SIZE

3 IN. 1.5 IN. 3/4 IN. 3/8 IN. 4 10 20 40 60 100 200



COBBLES	GRAVEL			SAND			SILT OR CLAY
	COARSE	FINE		COARSE	MEDIUM	FINE	

KEY	BH	DEPTH M	CLASSIFICATION		
			SP	POORLY GRADED	FINE - MEDIUM SAND
○	1	1-1 (3-5')	SP	POORLY GRADED	FINE - MEDIUM SAND
—	1	2-3 (7-5')	SP	POORLY GRADED	FINE - MEDIUM SAND
⊙	1	4-6 (15-0')	SP	POORLY GRADED	FINE SAND
X	1	10-6 (33-0')	SP	POORLY GRADED	FINE SAND
△	1	15-3 (50-0')	SP	POORLY GRADED	FINE SAND

GRADATION CURVE

PROGRESS ENGINEERS

Ⅶ ナイジェリア国のカンントリーデータ

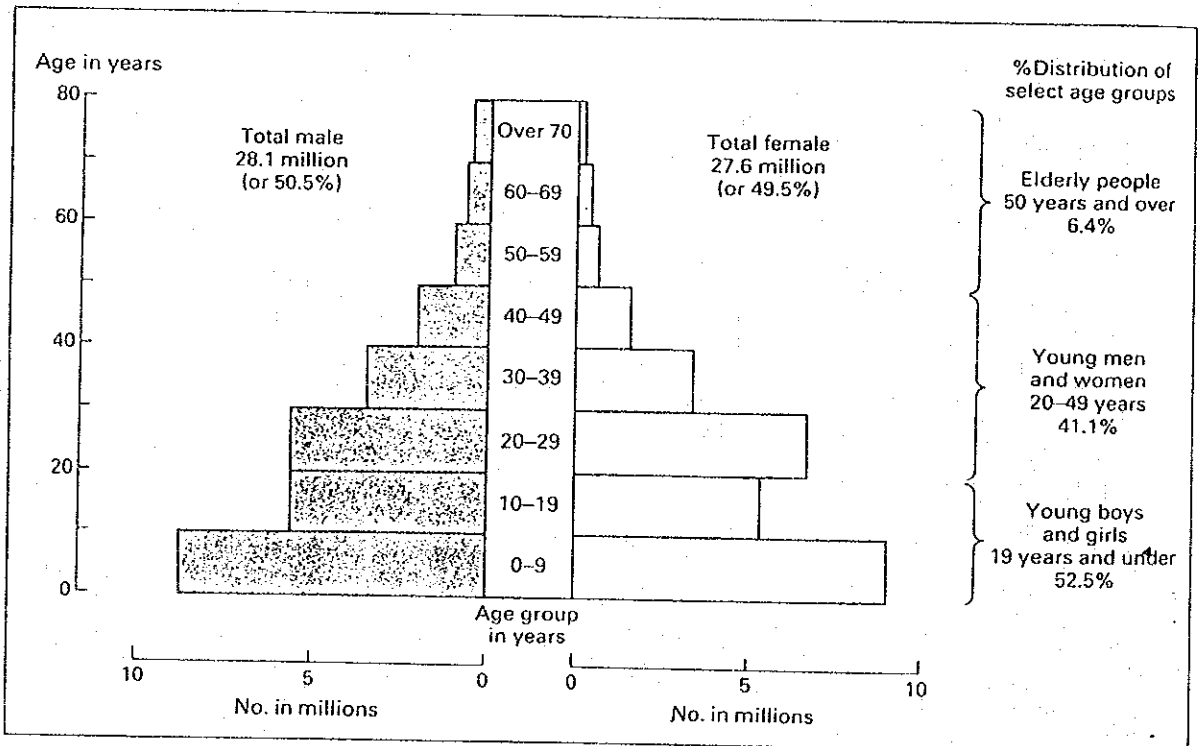
Ⅶ-1 基礎指標

① 国名 ナイジェリア連邦共和国
 首都 ラゴス (Lagos) 人口約250万人 (1981年)
 独立年月日 1960年10月1日

② 国土・人口
 面積 923,768km² (日本の約2.5倍)
 人口 8920万人 (1982年) IMF推計*

* 1963年のセンサス調査を基に、63年度の人口を55.67百万人として人口増加率2.5%で、IMFが推計している。

年齢構成表

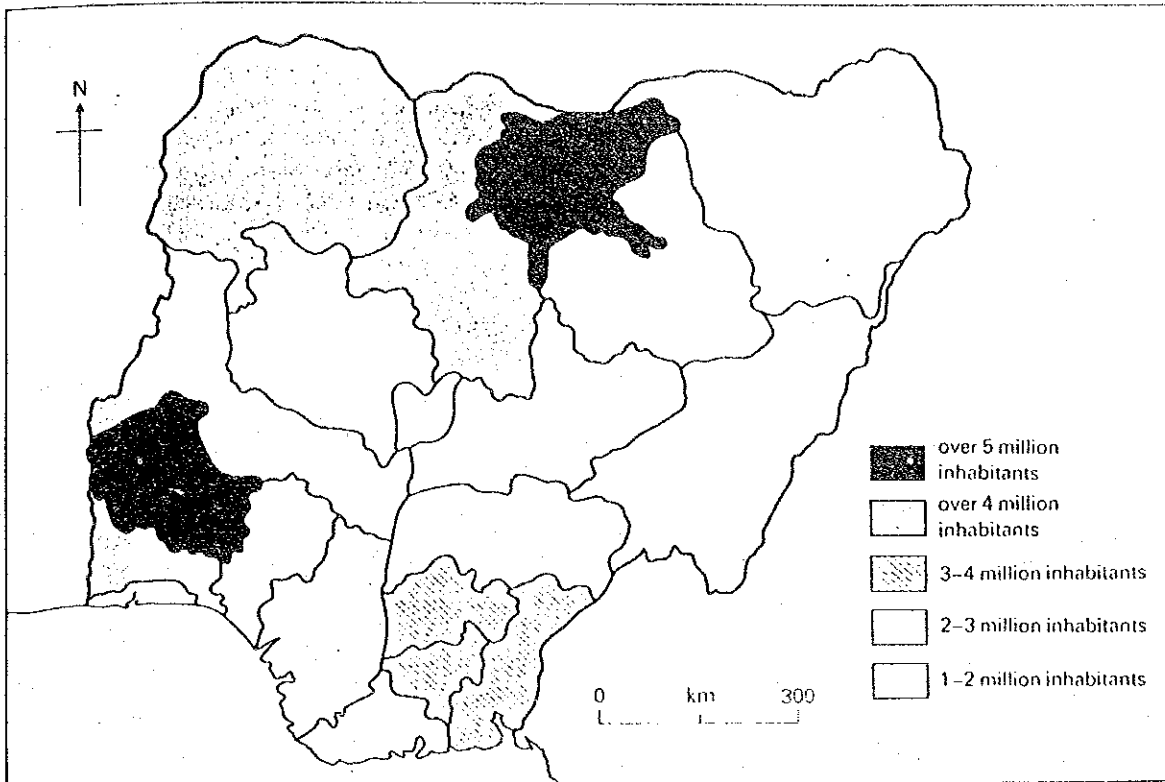


1.6 Population distribution by sex and age-group.

人口密度 99.6人/km² (1982年) IMF推計
 人口増加率 2.5% (1963年センサスによる)
 都市人口比
 1960年 13.1%
 1970年 16.4%
 1981年 20.9%

平均寿命 49.1才 (1980年)

人口分布図



1.7 Population distribution and movement.

③ 政 体

連邦共和制

1985年8月26日、ブハリ最高軍事評議会議長を元首とする民主政治にクーデターがおこりババンギダ大統領を元首とする連邦軍事政府を樹立した。前ブハリ政権の政策プランナーであったババンギダ将軍は、ブハリ政権の基本政策路線をベースに、不都合な面を修正しつつ引き継ぐものと考えられる。前ブハリ政権の構成機関は、次の通りである。

- 最高軍事評議会……………構成員19名の最高意思決定機関。
- 国家評議会……………最高軍事評議会の主要メンバー
各州軍政知事の計27名。
- 連邦執行評議会……………22名の大臣により構成される機関。
内閣に相当する。

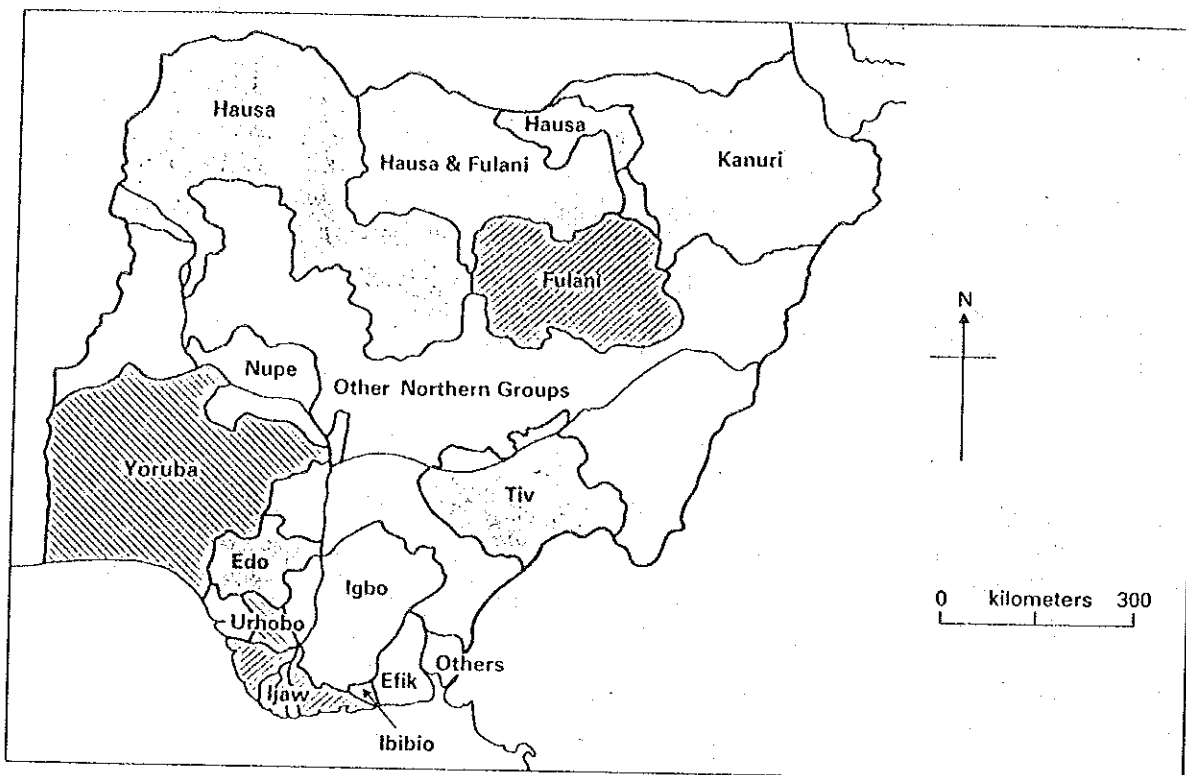
④ 宗 教

イスラム教 約47% (北部、南西部)
キリスト教 約35% (南東、南西部)
原始宗教 (全 域)

⑤ 言 語

公用語として英語
その他、ハウサ語、ヨルバ語、イボ語等

言語分布地域図



1.4 The major language groups in Nigeria.

⑥ 民 族

多民族国家である。主な民族は、

- ハウサ・フラニカ族 (北部) 27%
- ヨルバ族 (南西部) 16%
- イボ族 (南東部) 17%

もともと、ナイジェリアは、ボルノ王国、ハウサ王国、フラニ王国、ベニン王国、ヨルバ王国などの種々の民族を連邦制の下に統一してできた国である。そのため、今もなお、各州の自立性が高く、部族間の抗争が激しいことが、国内統治を困難にしている。

⑦ 教 育

義務教育制ではないが、小学校は無料、中等学校は無料か有料、大学は少額の授業料となっている。教育は、各州政府に委ねられている。

成人識字率	34% ('80年)		
就学率	小学校 (6年)	98% ('81年)	
	中等学校 (5年)	16% ('81年)	
	大学 (3~5年)	2% ('79年)	
学校数・学生数 (79/80)	小学校	35,723校	1,341.6万人
	中等学校 (普通)	2,778校	156.3万人
	(その他)	428校	30.7万人
	総合大学	13校	5.8万人
	その他高等教育機関等	80校	7.4万人

⑧ 通貨レート

通貨単位 ナイラ (1ナイラ=100コボ)

レート (対US\$) 1.2372 (1984年)

為替相場 (年度末) (ナイラ当りUSDollar)

1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984
1.5444	1.7841	1.8367	1.5701	1.4920	1.3359	1.2372

⑨ 緯度・気候・地勢

東 経 2度40分 ~ 14度30分

北 緯 4度20分 ~ 14度00分

全般的に熱帯気候であるが、大きく、北部と南部に分けられる。

北 部 …… 平均気温 18~35℃ 年間雨量 500mm

南 部 …… 平均気温 23~31℃ 年間雨量 1,750~5,000mm

南はギニア湾から北に1,100km、東西に1,300kmの地形で、海岸低地帯、丘陵地帯、河谷地帯、高原地帯、高地帯に分けられる。しかし、ジョス高原、カメルーン国境付近をのぞけば、海拔500メートル以内の平坦な地勢である。

VI-2 社会・経済指標

① 国内総生産 GDP

GROSS DOMESTIC PRODUCT AT 1977-78 CONSTANT FACTOR COST
1981-85

(N Million)

Activity Sector	1981	1982	1983	1984	1985
1. Agriculture	3,559.00	4,301.87	4,003.19	4,238.94	4,387.30
2. Livestock	1,560.41	1,618.81	1,516.61	1,637.94	1,678.89
3. Forestry	264.48	259.43	241.78	245.64	248.10
4. Fishing	754.63	784.48	818.72	568.67	588.57
5. Crude Petroleum	4,625.42	4,086.05	3,983.92	4,500.54	4,658.85
6. Other Mining and Quarrying	713.80	594.07	513.10	374.22	355.5
7. Manufacturing	3,163.13	3,806.96	3,629.13	2,968.44	3,110.93
8. Utilities	171.26	192.38	201.89	205.29	209.4
9. Construction	3,204.08	2,674.46	2,312.20	1,684.07	1,599.9
10. Transport	1,399.50	1,446.25	1,091.35	820.74	796.12
11. Communications	61.60	60.36	57.66	57.66	59.97
12. Wholesale and Retail Trade	6,342.35	5,642.60	4,973.38	4,559.56	4,696.34
13. Hotels and Restaurants ..	109.66	122.68	135.85	135.85	140.20
14. Finance and Insurance ..	748.95	929.90	887.01	829.54	871.02
15. Real Estate and Business Services	61.75	61.19	52.60	49.83	50.93
16. Housing	1,026.35	1,056.87	793.13	793.13	803.44
17. Producer of Government Services	2,141.01	2,270.91	2,148.40	2,184.15	2,216.69
TOTAL	29,907.47	29,909.20	27,359.92	25,854.21	26,472.51

Source.—Federal Office of Statistics 1981-85
1985 National Planning Office Estimate.

② 国民総生産 GNP

GNP	85,510百万ドル	} (1980年)
一人当り	1,010ドル	
GNP	71,030	} (1983年)
一人当り	760ドル	

③ 輸出入

輸	年	輸出総額 FOB (百万ドル)	国 別 (%)							品 目 別 (%)					
			アメリカ	フランス	西ドイツ	イタリア	オランダ	イギリス	ECO- WAS	石油	ココア豆	ココア バター	パーム 核	ゴム	錫
出	81	17,162	32.8	4.8	6.2	4.7	12.1	1.2	2.8	96.9	1.3	0.2	0.2	0.2	0.1
	82	12,930	34.4	15.8	7.9	8.9	7.6	2.0	2.5	98.6	0.7	0.2	0.2	0.1	—
	83	11,118	21.4	20.3	13.5	13.5	9.3	4.2	2.2	96.4	3.3	—	0.2	0.1	—
輸	年	輸入総額 CIF (百万ドル)	国 別 (%)							品 目 別 (%)					
			イギリス	フランス	アメリカ	西ドイツ	日本	イタリア	オランダ	機械 機器	工業 製品	食料品	化学品	原料	燃料
入	81	21,451	13.5	7.9	7.1	10.1	10.1	3.2	2.9	41.8	27.8	16.5	9.7	1.6	1.4
	82	12,876	16.9	9.9	9.9	11.9	9.4	5.3	3.8	43.2	26.7	16.4	9.4	1.6	1.4
	83	11,517	10.9	8.2	7.4	6.0	4.9	3.7	2.6	41.3	28.4	15.3	10.3	1.9	1.5

④ 就労人口・失業率

労働力 (産業別雇用者構成 %)				
年	60	70	80	83
農業	71	62	54	58
工業	10	14	19	20
サービス業	19	24	27	22
就業人口 (百万人)	21.8	26.0	31.6	34.9

失業率

1983年 15% (593万人)

⑤ インフレ率

(前年(同期)比
伸び率)

81年	20.2%
82年	7.7%
83年	23.2%
84年(1~3月)	35.6%

⑥ 国際収支

[100万USドル]	1979	1980	1981	1982	1983
経常収支	1,664	5,104	△5,897	△7,691	△4,738
貿易収支	4,913	11,106	△911	△3,993	△1,691
商品輸出 (fob)	16,774	25,741	17,961	12,877	10,456
商品輸入 (fob)	△11,862	△14,636	△18,872	△16,871	△12,147
その他商品、サービス (受取)	1,294	1,805	1,588	848	489
(支払)	△4,154	△7,233	△6,017	△4,119	△3,274
移転収支	△388	△573	△557	△427	△262
民間移転資本	△349	△407	△440	△386	△242
政府移転資本	△39	△166	△117	△41	△20
直接投資	304	△734	543	430	345
間接投資	-	-	-	-	-
その他長期資本取引	1,017	651	790	1,084	1,233
その他短期資本取引	△94	28	197	453	△87
誤差・説明	308	△706	△377	△220	214
総合収支	3,663	4,687	△6,554	△6,127	△3,292

⑦ 外貨準備高

(100万USドル)	1979	1980	1981	1982	1983	1984
合計(金を除く)	5,548	10,235	3,895	1,613	990	1,462
SDR	142	169	278	45	27	10
IMFポジション	389	473	519	—	—	—
外国為替	5,017	9,593	3,098	1,568	963	1,452
金(1,000トロイオンス)	687	687	687	687	687	687

為替相場(年変末)

[ナイラ当りUSドル]	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984
	15.444	17.841	18.367	15.701	14.920	13.359	12.372

⑧ 公的対外債務

年	(百万ドル)			
	80	81	82	83(推定)
対外債務残高(期末)	4,087	4,946	7,971	9,056
債務返債額(期中)	968	1,084	1,126	1,846
債務返済比率(%)	3.7	6.1	8.7	17.5

⑨ 対日貿易

⑨-1 日本からナイジェリアへの輸出

(1,000ドル)	1979	1980	1981	1982	1983	対前年 比(%)
輸出総計	806,889	1,493,602	2,158,826	1,209,057	567,805	47.0
食料品	54,351	71,700	101,026	70,766	28,308	40.0
さばかん詰	53,109	70,470	97,906	60,120	21,496	35.8
軽工業品	52,819	101,948	113,689	82,285	38,017	46.2
繊維品	28,706	53,206	47,245	32,045	15,446	48.2
非金属鉱物製品	3,009	7,859	8,091	3,475	4,017	115.6
その他の軽工業品	21,104	40,882	58,352	46,765	18,554	39.7
重化学工業品	691,134	1,316,755	1,940,553	1,054,792	499,911	47.4
化学品	20,557	26,506	28,327	15,477	11,126	71.9
金属品	191,027	418,363	385,535	282,602	136,122	48.3
鉄鋼	155,481	367,267	326,162	246,108	99,485	40.4
金属製品	28,421	35,689	42,404	27,208	25,908	95.2
機械機器	479,549	871,885	1,526,691	756,714	352,363	46.6
一般機械	100,041	125,334	209,721	137,584	148,915	108.2
電気機械	124,879	248,230	278,712	187,320	110,128	58.8
輸送機械	250,993	490,293	1,025,540	425,833	89,863	21.1
自動車 (部品を除く)	181,745	325,942	711,909	244,778	40,495	16.5
精密機械	3,636	8,028	12,719	5,977	3,457	57.8
再輸出・特殊取扱品	8,017	2,122	2,416	710	1,257	177.0

出所：通商白書

⑨-2 日本のナイジェリアからの輸入

[1,000ドル]	1979	1980	1981	1982	1983	対前年 比(%)
輸入総計	42,467	120,175	350,369	8,002	6,706	838
食料品	5,305	4,061	6,567	6,330	4,773	75.4
えび	5,055	3,665	6,558	5,795	4,540	78.3
ココア	249	1	0	534	225	42.1
原料品	10,479	3,573	2,178	354	1,446	408.5
非鉄金属鉱	2,550	2,191	314	0	0	0.0
採油用種子類	1,098	1,211	1,828	331	1,376	415.7
シャーナッツ	1,098	1,211	1,828	331	1,376	415.7
鉱物性燃料	25,198	104,643	331,191	0	0	0.0
原油および粗油	0	104,597	331,185	0	0	0.0
加工製品	44	331	11	16	119	743.8
再輸入・特殊取扱品	1,441	7,566	423	1,303	368	282

出所：通商白書

⑩ 財政収支

REVENUE AND EXPENDITURE OF FEDERAL GOVERNMENT : 1981-85

Item	1981	1982+	1983+	1984*	1985*
1. Federally Collected Revenue	11,813.8	8,924.2	8,555.1	11,331.7	11,241.3
2. Appropriation to State and Local Governments ..	2,365.5	3,451.5	3,407.6	4,587.8	4,467.5
3. Retained Federal Government Revenue	9,447.4	5,472.7	5,147.5	6,743.9	6,773.8
4. Recurrent Expenditure ..	5,498.9	4,755.0	5,278.8	6,072.5	5,473.3
5. Budget surplus/deficit (3-4) ..	3,948.5	717.7	-131.3	671.4	1,300.5
6. Capital Expenditure	5,697.0	5,632.2	6,050.2	3,935.7	5,807.4
7. Net Budget surplus/deficit (5-6)	-1,748.5	-4,914.5	-6,181.5	-3,264.3	-4,506.9
8. External loans	280.1	263.5	1,106.9	450.0	2,229.6
9. Internal loans	1,397.2	3,402.0	7,376.8	3,450.7	2,267.6
10. Other Funds (b)	+71.2	+1,249.0	+2,302.2	-636.4	-9.7

Ⅶ-3 開発指標

前ブハリ政権は、シャガリ政権の1981年1月から85年12月までの第4次国家開発計画を引き継いできた。新ババンギダ政権も、同計画を見直しつつ、引き継いでいる。

I 計画の目標

経済の自立に基づく総てのナイジェリア国民の標準的生活水準の向上が一大目標である。具体的目標として次の通り掲げられている。

- ・ 平均的市民の実質所得の向上
- ・ 各個人間、社会経済グループ間の所得分配の均等化
- ・ 失業、半失業の改善、解消
- ・ 人材の育成
- ・ 技能労働者の供給拡大
- ・ 経済の石油部門への過度の依存の軽減
- ・ 均衡のとれた経済発展と地域間の発展格差の改善
- ・ 生産企業への資金、経営面での民間部門の参加拡大
- ・ 国内資源の優先的活用による経済の自立性の強化
- ・ 技術開発
- ・ 生産性向上
- ・ 規律の向上、勤労態度の向上、環境の浄化に通じる新たな国民的意識の振興

II 重点政策部門

農業、住宅、教育（三大政策目標）

その他電力、給水、通信、鉄道、陸上・水上運輸施設、保健衛生、工業

① 開発予算

総投資額 820億ナイラ (1,394億ドル)
 うち公共部門 705億ナイラ (1,199億ドル)
 民間部門 115億ナイラ (195億ドル)

公共投資の部門別配分

部 門	(%)	
	第4次計画部門配分	第3次計画部門配分
経 済 部 門	57.5	61.5
農・林・水産・牧畜	12.6	7.0
鉱 業	7.7	6.1
製 造 業	11.1	12.7
電 力	4.4	3.0
運 輸 通 信	18.1	30.5
そ の 他	3.6	2.2
社 会 部 門	17.5	11.6
教 育	11.0	7.4
保 健	4.3	2.7
そ の 他	2.2	1.5
環 境 開 発	16.2	13.9
行 政	8.8	13.0

民間投資の部門別配分

部 門	金額(百万ナイラ)	構成比(%)	前計画構成比(%)
農 林 水 産 畜 産	1,800	15.6	10.3
鉱 業	1,300	11.3	9.3
製 造 業 ・ 手 工 業	3,000	26.1	23.3
建 設 業	2,400	20.9	28.6
流 通 業	1,200	10.4	11.8
輸 送 業	800	7.0	7.0
そ の 他 サ ー ビ ス	1,000	8.7	9.7
合 計	11,500	100.0	100.0

JICA